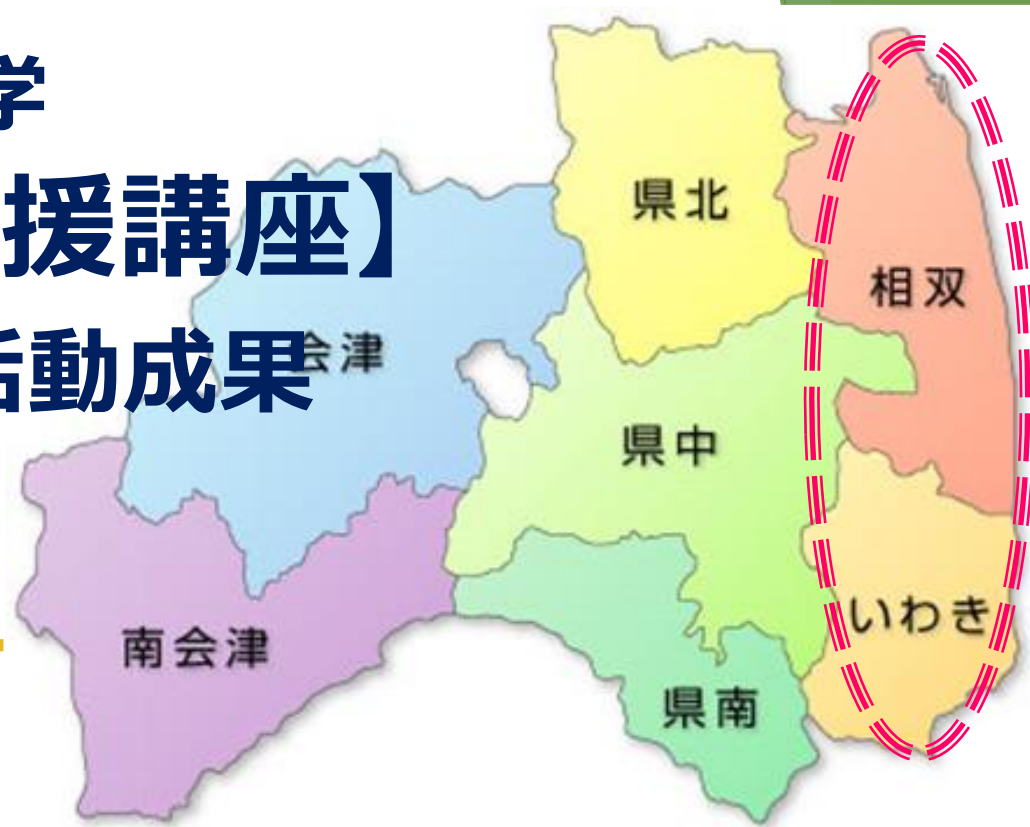




福島県立医科大学

【災害医療支援講座】

これまでの活動成果



【開設時期及び概要】

◆平成24年4月1日

⇒令和3年4月1日からさらに5年間の継続を決定（令和8年3月31日まで）

◆福島県外から医師を招へいし、被災地である浜通り地域（相双、いわき）の医療機関へ医師派遣を行うための寄附講座を設置

◆人件費（常勤医）：国の財政支援により設置した県基金を財源とした補助金を活用

◆研究費及び講座運営費：趣旨に賛同した寄附者からの寄附金を活用（寄附者19者）

【医師派遣の実績】



◆設置当初（平成24年4月）：常勤医5名、非常勤医3名

◆現在（令和7年10月）：常勤医5名、非常勤医13名

◆常勤医の派遣先：相馬中央病院（相馬市）、

いわき市医療センター（いわき市）、南相馬市立総合病院（南相馬市）

◆非常勤医の派遣先：大町病院（南相馬市）、高野病院（広野町）

ほりメンタルクリニック（南相馬市） ほか

⇒これまで14の医療機関に対し、常勤医18名、非常勤医12名を派遣



【研究成果の報告】

◆福島災害医療研究会の開催

平成24年度開催の第1回から、令和6年度まで合計13回開催

⇒所属教員のべ63名による研究成果を発表

◆第1～13回災害医療研究会記録集：<https://www.fmu.ac.jp/cms/disamed/>

